

251

公益活動報告書(市民活動実績報告書)(令和 6 年度)

(宛先)岡崎市長

令和7年4月21日

団体名 岡崎おせこ劇場

代表者 池井 麻理

構成員 310人(※令和7年4月1日時点の構成員数)

団体の目的: 団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。
優れた児童文化を全量賛し、その創造普及、発展のために努力し、それを通じ
子どもたちの豊かな感受性・自主性・創造性を育み、健全な成長を促します。

私達の団体が掲げる目的を実現した活動を、以下の項目に従って報告します。
なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

■1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどのような活動をしましたか。(公益活動に限る)

活動日 又は期間	場所	公益を受けた ものは?	受益者 (会員以外) 人数※1	活動内容
2024年 10/5	東部交流 センターおせこ かん	地域の0~3歳 親子	6人	0~3歳の子どもたちのために プロの音楽家を招き、歌を まいたり楽器あそびで楽しむ。
2024年 5月~ (月に一回程度)	東部所 地域の (公民館)	地域の0~3歳 低学年親子	のべ 40人	外あそび、室内で新聞紙 セボール、ふくあそびなど 楽しむ。親子で交流する。
2025年 1/23	東部交流 センターおせこかん	地域の0~ 1歳 親子	30人	プロの劇団を招き、見て、ふいて 聴いて楽しむ舞台を体験し 子どもたちの豊かな感受性を育む。
2025年 3/2	小豆坂市民 ホーム	地域の 低学年親子	10人	講師を招き、親子で表現 ワークショップを体験する。

※1 公益を受けたものが「人」ではない、数が把握できない場合は記載がなくてもよい。<ex.自然環境>

■2 前項1に基づき、1年間の団体活動で岡崎市(広く市民社会一般)に何をもたらしましたか。

・優れた舞台芸術に定期的に生かそうことで子どもたちの感性が育った。
・学区に一緒に属する親子で遊んだりする仲間が、ふたつ大人も安心して子育てが出来る
子どもたちも活動の場が広がった。

■3 今年度の活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください(数字に○をつけてください)
高い ← (5) 4 3 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください。
我が子が育つ岡崎市の地域で、母親同士がつながり合うことで
遊びや交流の輪をつくり、安心できる子育ての輪を広げている。

裏面の自己診断チェックリストもご記入ください。